

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第27週の発生動向

トピックス

・新型コロナウイルス感染症(定点把握対象疾患)

第27週(7/1~7/7)の県内定点当たり報告数が19.7(前週比約1.7倍)となり、第5週(1/29~2/4)の報告数(17.9)を超え、今年最も高い値となった。また、第26週(6/24~6/30)時点で、宮崎県全体の定点当たりの報告数が沖縄県、鹿児島県、熊本県に次いで全国第4位となっており、今後の動向に注意が必要である。詳細後述。

全数報告の感染症(27週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：報告なし。5 類感染症：梅毒 2 例、破傷風 1 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	左耳下腺結核	発熱、左耳下部痛、開口障害
			20歳代	男	肺結核及び結核性リンパ節炎	なし
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日向	40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	破傷風	宮崎市	80歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣
	百日咳	高鍋	0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタッカート

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,052人(定点当たり45.1)で、前週比125%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及びヘルパンギーナで、減少した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

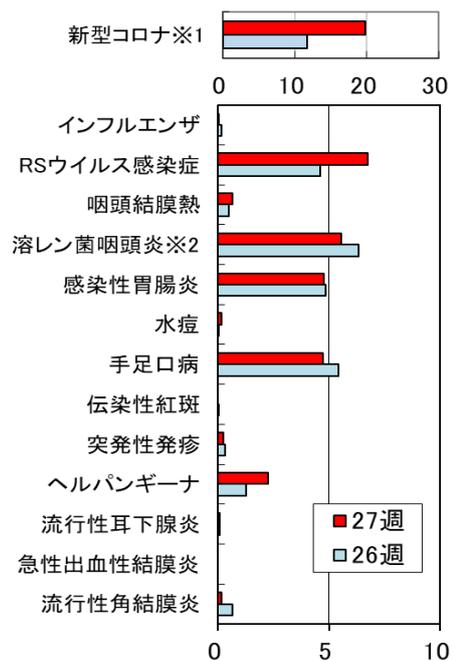
報告数は1,145人(19.7)で、前週比168%と増加した。高千穂(35.0)、日南(29.8)、高鍋(29.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約4割を占めた。

【RSウイルス感染症】

報告数は242人(6.7)で、前週比146%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約4.5倍であった。中央(14.0)、宮崎市(11.7)、小林(6.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》



定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

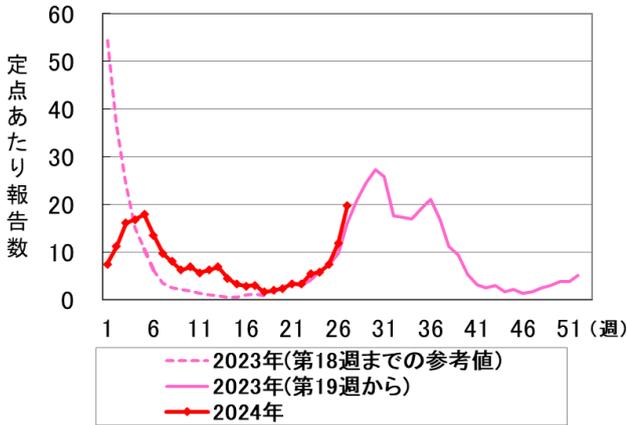
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【手足口病】

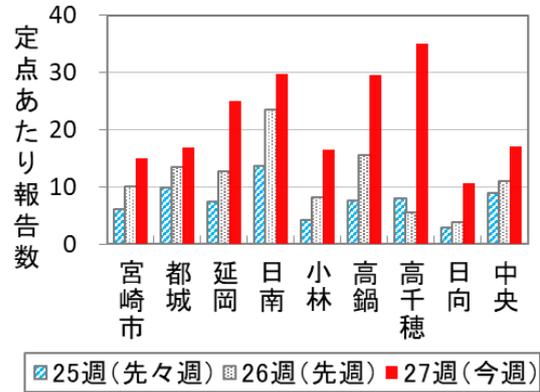
報告数は170人(4.7)で、前週比87%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.4)の約3.4倍であった。日向(8.0)、延岡(7.8)、小林(7.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

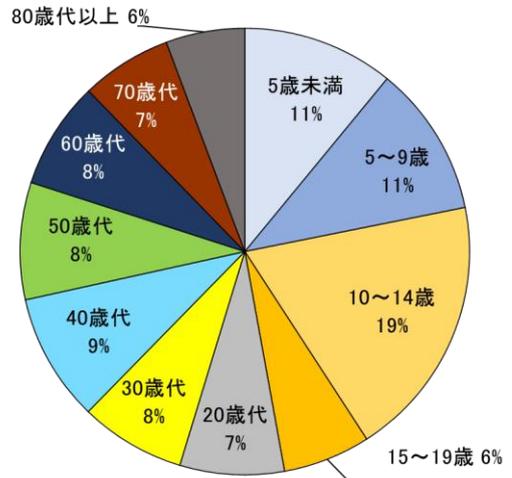


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

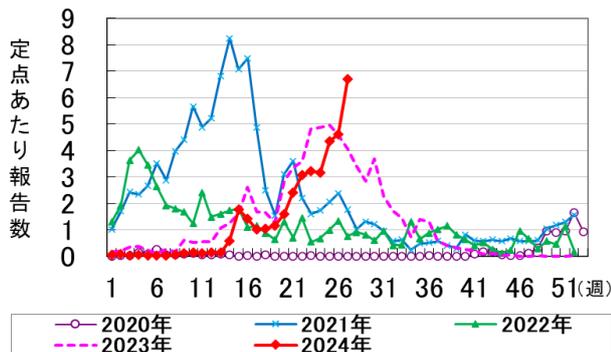


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第27週)

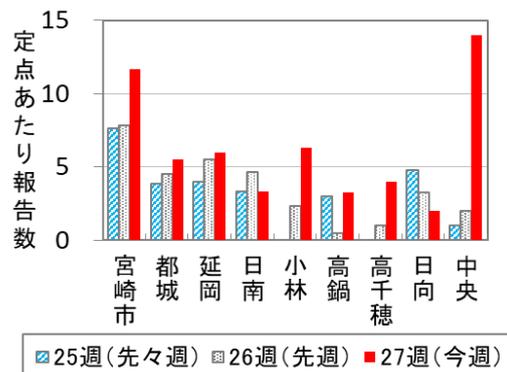
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



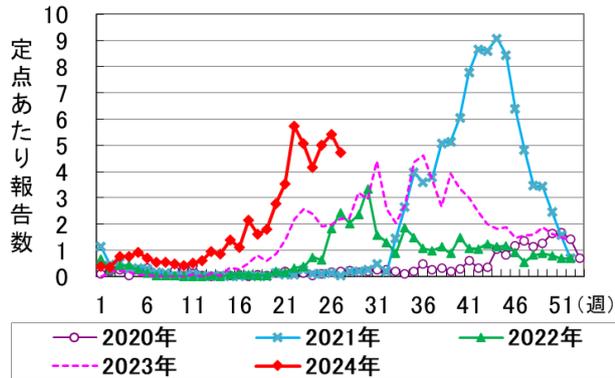
RSウイルス感染症 発生状況



RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

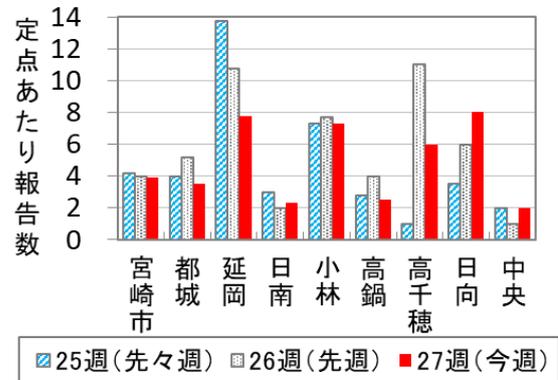


手足口病 発生状況



手足口病

保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(7.8)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0) 水痘(1.0)
小林	手足口病(7.3)
高鍋	なし
高千穂	手足口病(6.0)
日向	手足口病(8.0)
中央	水痘(1.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・水痘(1)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和6年7月8日までに検出)

★細菌 報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Cytomegalovirus	0~4歳	男	2024.04.08	ウイルス性発疹	咽頭ぬぐい液	2024.06.27
Human herpes virus 6	5~9歳	男	2024.04.17	筋炎疑い、発熱、筋痛、咽頭痛、肝機能障害	咽頭ぬぐい液	2024.07.03
Parainfluenza virus 3	10歳代	男	2024.05.07	急性気管支炎、39.0℃	鼻汁	2024.06.26

📌 全国 2024 年第 26 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	263 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	89 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	3 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	5 例	ダニ媒介脳炎	1 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	12 例	マラリア	3 例	ライム病	2 例
	レジオネラ症	33 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	33 例	後天性免疫不全症候群	12 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	25 例
	水痘(入院例)	7 例	梅毒	187 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	37 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 114%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 28,614 人(5.8)で前週比 126%と増加した。沖縄県(29.9)、鹿児島県(15.4)、熊本県(12.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 26,544 人(8.5)で前週比 134%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.9)の約 4.5 倍であった。三重県(22.7)、兵庫県(13.4)、鹿児島県、香川県(12.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第27週(07月01日～07月07日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	8	2						2			
	定点当り	0.14	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	683	1145	241	169	175	149	66	177	70	64	34
	定点当り	11.78	19.74	15.06	16.90	25.00	29.80	16.50	29.50	35.00	10.67	17.00
RSウイルス感染症	報告数	166	242	117	33	24	10	19	13	4	8	14
	定点当り	4.61	6.72	11.70	5.50	6.00	3.33	6.33	3.25	4.00	2.00	14.00
咽頭結膜熱	報告数	17	23	11	3	1	1		2	1	3	1
	定点当り	0.47	0.64	1.10	0.50	0.25	0.33	0.00	0.50	1.00	0.75	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	227	200	77	28	25	30	1	22	1	11	5
	定点当り	6.31	5.56	7.70	4.67	6.25	10.00	0.33	5.50	1.00	2.75	5.00
感染性胃腸炎	報告数	175	172	54	36	5	17	28	15		10	7
	定点当り	4.86	4.78	5.40	6.00	1.25	5.67	9.33	3.75	0.00	2.50	7.00
水痘	報告数	1	5		1		3					1
	定点当り	0.03	0.14	0.00	0.17	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	195	170	39	21	31	7	22	10	6	32	2
	定点当り	5.42	4.72	3.90	3.50	7.75	2.33	7.33	2.50	6.00	8.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	11	8	2	1		1	2	2			
	定点当り	0.31	0.22	0.20	0.17	0.00	0.33	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	45	81	10	31	18	7	12			1	2
	定点当り	1.25	2.25	1.00	5.17	4.50	2.33	4.00	0.00	0.00	0.25	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	3			2						1
	定点当り	0.08	0.08	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	1	1								
	定点当り	0.67	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～27週 保健所受理分)

2類感染症	結核	50例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例(1)
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			レジオネラ症	7例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
			梅毒	85例(2)
			百日咳	38例(1)

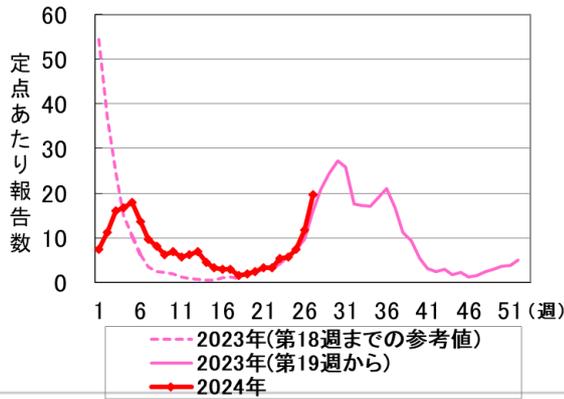
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第27週、全国第26週（再掲）》

□ 県内第27週 新型コロナウイルス感染症発生動向

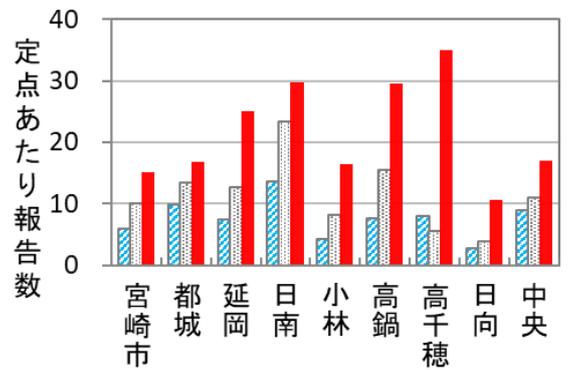
7月1日～7月7日までの1週間で1,145人(19.7)の報告があった。前週比168%と増加し、高千穂(35.0)、日南(29.8)、高鍋(29.5)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



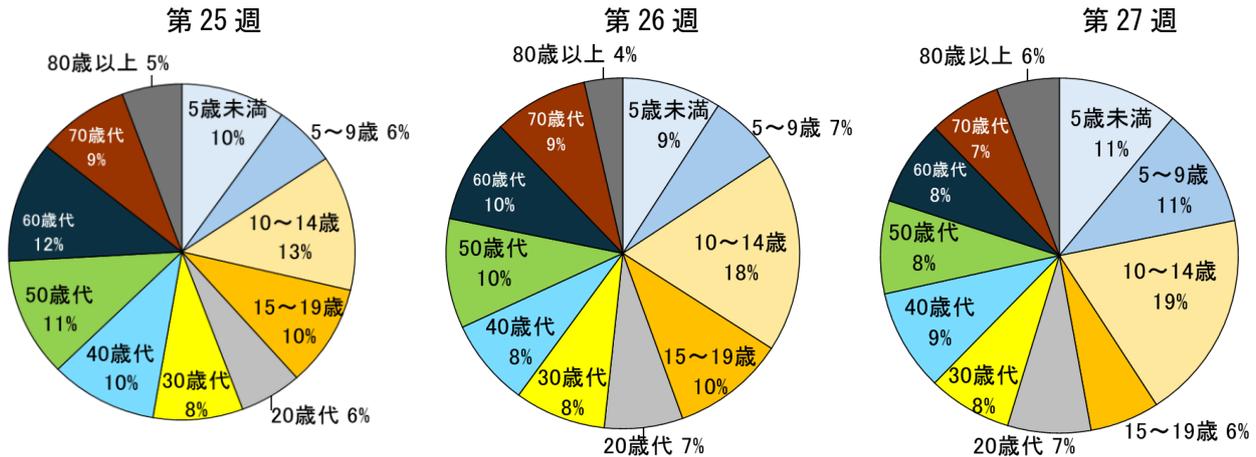
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

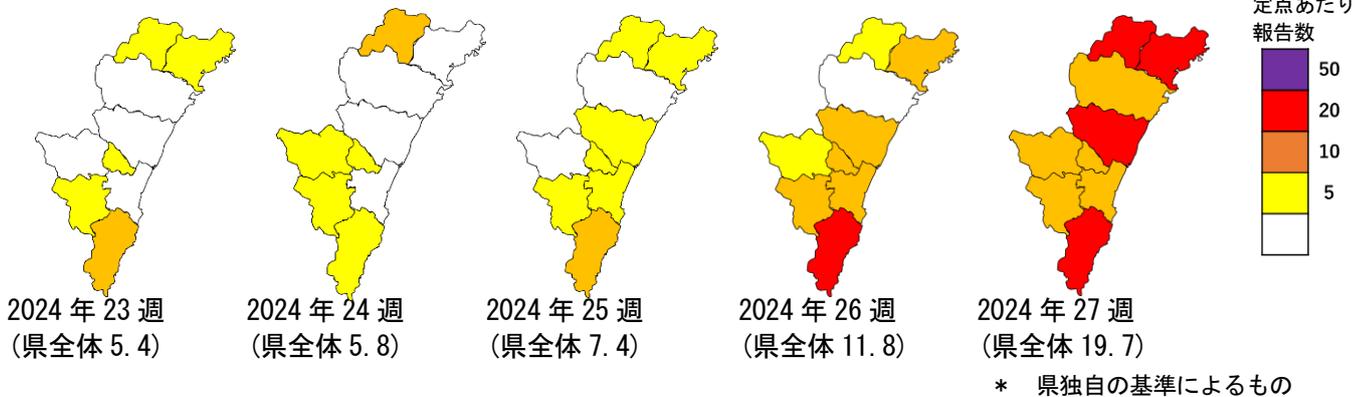


■ 25週(先々週) ■ 26週(先週) ■ 27週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第23週～2024年第27週



□ 全国第26週 新型コロナウイルス感染症発生動向

6月24日～6月30日までの1週間で28,614人(5.8)の報告があった。前週比126%と増加し、沖縄県(29.9)、鹿児島県(15.4)、熊本県(12.2)からの報告が多かった。年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。